

<地域学習・教育論>

【設問】 次の文章を読んで、下記の問題に答えなさい。

著作権の関係上公表しません

引用：スポーツ庁ホームページ

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/1405720.htm

(最終アクセス：2025年1月14日)

【問題】

日本や日本の教育現場が抱える諸課題を具体的に説明した上で、なぜ学校と地域が連携・協働して運動部活動を行う必要があるのか論じてください。また、連携・協働する上での留意点についても、あなたの考えを述べてください。(50点)

【出題意図】

日本や日本の教育現場の現状、課題への理解度、地域協働に関する知識を確認すると共に、自らの考えを論理的に述べる力を確認する。

〈地域経済・産業論〉

問い 次の2つの設問に答えなさい。

設問1 下記の用語の中から、3つの用語を選んで、1つめの用語を①の解答欄に、2つめの用語を②の解答欄に、3つめの用語を③の解答欄に、それぞれ解答欄の大きさの範囲で簡潔に説明しなさい。(各5点、合計15点)

地域資源活用、コンパクトシティ、過疎・高齢化、ソーシャルキャピタル、6次産業化、コミュニティビジネス

出題意図：

地域経済・産業論における基礎的な学術用語についての理解力と、それらの用語について社会的背景や具体例等を交えて記述できる力を確認する。

解答例：

(1) 地域資源活用

地域資源活用とは、地域ならではの資源（自然、人、歴史・文化など）を活かすことをいう。地域の課題の解決や活性化に向けて、地域資源を活用しつつ、特産品開発・販売、地域活性化の拠点作り、地域ブランド化などをおこなう事例がみられる。経済的な利益ばかりでなく、地域の誇りを取り戻すことにつながる。

(2) コンパクトシティ

コンパクトシティとは、住まい・交通・公共サービス・商業施設などの生活機能をコンパクトに集約し、効率化した都市のこと。あるいはその都市計画の考え方である。その背景には、近年、進行する人口減少や少子・高齢化、財政難によるインフラ整備コスト縮減、環境問題への対応などがある。

(3) 過疎・高齢化

過疎・高齢化は、たとえば近年の日本の場合、高度経済成長期以降、とくに農山漁村あるいは中山間地域において、若い世代が都市に出ていくことによってみられる。学校、店、病院など地域の社会機能を担う施設の減少、農山漁村での機能(共同作業、冠婚葬祭など)の低下が課題となっている。

(4) ソーシャル・キャピタル

ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）とは、信頼、ネットワーク、相互扶助など人と人のつながりがもたらし、資本となりうる価値や資源のことである。地域課題の解決に向けて、物的資本や人的資本ばかりでなく、新たな重要な概念として注

目されている。

(5) 6次産業化

6次産業化とは、農業・漁業・林業などの一次産業を基盤に、加工（＝二次産業）や販売・サービス（＝三次産業）までを合わせて手がけることで、付加価値を高め、地域活性化や収益向上を目指す取り組みのことである。背景には、近年、収益が低く衰退が進む一次産業、地域で進む少子・高齢化などがある。

(6) コミュニティビジネス

コミュニティビジネスとは、市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決する事業のことである。利益を得ると同時に、地域をよくする、元気にするといった社会的な目的が根底にある。地域の人、資源を積極的に活用することも一つの特徴である

設問2 近年、地方の経済・産業の衰退が課題となっている。当課題の要因と解決策について、回答欄の大きさの範囲で論じなさい。(35点)

出題意図：

地域の経済や産業が抱える課題について、根拠に基づいて理解する力と課題に応じた適切な研究アプローチを構想する力を確認する。

解答例：省略